

「変わってみたい」という挑戦の先には、
出会ったことのない自分がいた



ビヨンドトゥモロー

エンデバー2020 応募受付中

社会的養護の下に暮らす高校生たちによる、自分の未来への挑戦
【高校卒業後の進学準備のための奨学金給付を含みます】



内容

- ①年間を通じた人材育成プログラムへの参加（参加に係る費用は主催者が負担します）
- ②高校卒業後の進学にむけたガイダンスや出願準備サポート（無料）
- ③高校卒業後の進学にむけた受験費用の支給（最大10万円）

対象者

応募時点で児童養護施設などの社会的養護の施設または里親家庭に暮らしている高校1年生、2年生
（選考あり・詳細は応募要項参照のこと）

応募方法

2020年2月2日（日）（当日消印有効）までに必要書類を郵送

選考方法

- 1次選考 書類選考
- 2次選考 個人面談（本人・施設長）
（面接は、各施設を訪問して行います。詳細は、1次選考通過者に通知します）

「エンデバー」は英語で「実現への試み」を意味し、18世紀の探検家キャプテン・クックの南太平洋探検の第1回航海の際の帆船の名前でもあり、1992年～2011年に宇宙を飛行したスペースシャトルの名称でもあります。

主催 一般財団法人教育支援グローバル基金

ビヨンドトゥモローは、様々な社会経済的な事情により、困難に直面した若者が、将来、広い視野と、他者の心の痛みに想いを馳せる共感力を持つグローバル・シティズン（地球市民）となる過程を応援する、人材育成事業です。



“人生で初めて、変わりたい、と思った。それは、ありのままの自分の姿を受け入れてくれる、ビヨンドトゥモローの仲間がいてくれたからだと思う”

- 藤本翔 聖学院大学心理福祉学部(埼玉県立久喜北陽高等学校卒業)

幼少期から暮らす児童養護施設で小学生の時にいじめに遭った経験から、将来、そのような想いをしている子供たちを支えられる仕事をしたいと考えようになった。いじめの経験があったからこそ、自分はやり返すのではなく、自分でそれを止めたいと思えるようになったと思う。将来は、社会福祉士の資格を取得し、児童養護施設の職員になることが夢。エンデバーでこそなりたい自分になることができる、と思うようになり、自分の意見をきちんと言える人になろうと決意し、高校2年と3年の2年間、エンデバーの活動に参加した。



“ビヨンドトゥモローに初めて参加した時の衝撃は今も覚えている。自分の経験やバックグラウンドについて共有し、それを受け入れてくれる環境がそこにあった”

- 飯田芽生愛 早稲田大学社会学部(長野県長野西高等学校卒業)

幼少期に母を自殺で亡くし、その後、養父からの虐待に耐える日々が続いた。その後、通報により保護され、児童養護施設に入所。つらい記憶だが、同時に「子どもたちの居場所創り」という夢を与えてくれた体験でもあると思う。高校生活を通してビヨンドトゥモローの活動に参加し、楽しかった時期だけでなく、行きたくないと思った時期も経験しながらも、やはり仲間と過ごす時間が自分の居場所となり、頑張る源になっていたのだと感じている。大学生としてビヨンドトゥモローに参加し、夏にはアメリカを初めて訪れ、英語でスピーチする役割も果たした。

ビヨンドトゥモロー エンデバーの活動内容(プログラム開催期間:2020年3月~2021年3月)

人材育成プログラム

1年間に4回程度開催される人材育成プログラムを通じ、各界で活躍するリーダーとの対話や、様々な困難を経験しながらも社会のために働くことを志す仲間との対話、社会課題について考える機会の提供を行います。様々な活動を通じて、自らの視野を広げ、自分の将来について考え、広く発信活動を行います。

人材育成プログラム開催スケジュール(予定は今後変更になることがあります)

- 第1回 オリエンテーション・プログラム 東京開催 2020年3月21日~24日
- 第2回 サマー・リトリート 開催地未定 2020年7月下旬~8月上旬予定
- 第3回 ジャパン未来リーダーズサミット 東京開催 2020年10月予定
- 第4回 総括・まとめ 東京開催 2021年3月予定

※参加に係る費用(交通費、宿泊費、食費、各種活動費)は、財団規程に基づき、主催者が負担します。

進学サポート

高校卒業後に進学を志す人を対象に、進学先の選択肢を広げるための進学ガイダンスや、出願書類準備のためのサポートを行います。また、進学のための奨学金応募に際する書類作成サポートも行っています。

※これまでの合格実績:青山学院大学文学部、慶應義塾大学総合政策学部、早稲田大学社会科学部、など

進学準備奨学金給付

2020年度に高校3年次に在籍し、高校卒業後に進学を志す人を対象に、進学準備費用を奨学金として給付します。進学のための受験に際し、センター試験検定料および、大学・短大・専修学校の入学検定料・受験料について、10万円を上限に支給します(2020年度に高校2年次に在籍している方は奨学金給付はありません)。



ホテルでの職場体験



自分たちの考えをプレゼンテーション



仲間とのディスカッション



海をクルージング

(社会的養護の下に暮らす現高校1年生、2年生対象)
ビヨンドトゥモロー エンデバー2020 【応募要項】

社会的養護の下に暮らす現高校1年生、2年生を対象とし、彼らが将来、社会のために活躍する人材になるべく進学を目指す過程を応援する「ビヨンドトゥモロー エンデバー2020」への応募を募ります。本事業は、進学準備に際して必要となる受験準備費用を支給するだけでなく、年間を通じたプログラム開催を通じ、日本全国から集う様々な想いを持つ若者が、広い視野から、自分に何ができるかを考え、主体的に高校卒業後の進路を選択する過程を応援します。

【主催】 一般財団法人 教育支援グローバル基金

【プログラム期間】 2020年3月～2021年3月（1年間）

【プログラムの内容】

1. 人材育成プログラム

1年間に4回程度開催される人材育成プログラムを通じ、各界で活躍するリーダーとの対話や、様々な困難を経験しながらも社会のために働くことを志す仲間との対話、社会課題について考える機会の提供を行います。様々な活動を通じて、自らの視野を広げ、自分の将来について考え、広く発信活動を行います。

人材育成プログラム開催スケジュール（予定は今後変更になることがあります）

第1回 オリエンテーション・プログラム 東京開催 2020年3月21日～24日

第2回 サマー・リトリート 開催地未定 2020年7月下旬～8月上旬予定

第3回 ジャパン未来リーダーズサミット 東京開催 2020年10月上旬予定

第4回 総括・まとめ 東京開催 2021年3月予定

※参加に係る費用（交通費、宿泊費、食費、各種活動費）は、財団規程に基づき、主催者が負担します。

2. 進学サポート

高校卒業後に進学を志す人を対象に、進学先の選択肢を広げるための進学ガイダンスや、出願書類準備のためのサポートを行います。また、進学に必要な資金のための奨学金応募に際する書類作成サポートも行っています。

3. 進学準備奨学金給付

2020年度に高校3年次に在籍し、高校卒業後に進学を志す人を対象に、進学準備費用を奨学金として給付します。進学のための受験に際し、センター試験検定料および、大学・短大・専修学校の入学検定料・受験料について、10万円を上限に支給します（2020年度に高校2年次に在籍している方は奨学金給付はありません）。

エンデバー2020は、上記3つの活動から成る、1年間の包括的なプログラムです。

【応募資格】 下記条件を満たすこと。

- ① 応募時点で、児童福祉法に基づき、児童養護施設などの社会的養護の施設に暮らしている、または都道府県知事から委託を受けた里親家庭に暮らしていること。
- ② 応募時点で高校1年次、または2年次に在籍していること。
- ③ 年間を通じて開催される各種プログラムに参加する意志があること。
- ④ 2020年3月21日～24日に東京で開催するオリエンテーション・プログラムへの参加を確約できること。

【選考方法】

1次選考：書類審査

2次選考：個人面談（本人・施設長／里親）

※各施設または家庭を当財団職員が訪問し、個人面談（本人・施設長／里親）を行います。

※最終合格者には、施設長の発行する在籍証明書または里親委託証明書（児童委託証明書）を提出いただきます。書類内容を確認の上、応募資格を満たしていることが認められない場合には合格を取り消します。また、合格した場合でも、後日、申告内容に虚偽や事実と異なることが認められた場合には、プログラムから除外となる他、既に支給した奨学金の返金を求めることがあります。

【応募方法】

下記の書類の全てを、締切までに提出すること。応募書類は返却いたしません。1次選考の結果についての個別のお問い合わせは理由の如何を問わず受け付けません。1つの施設から複数名の応募が可能です。

① 応募用紙（指定応募用紙に必要事項を記入のこと）

② 施設長／里親からの推薦状（厳封のこと）

【裏面に続く】

【締切】 2020年2月2日（日）当日消印有効

【応募の流れ】 選考は、以下のスケジュールで行います。

2月2日（日）	応募締切（当日消印有効）
2月上旬	一次選考合格者への合格通知および2次選考案内送付（不合格者には通知はありません）
2月中旬	二次選考 各施設を当財団職員が訪問し、個人面談（本人・施設長）を行います。
2月下旬	最終合格者発表（二次選考を受験した応募者本人及び応募者の居住する児童養護施設長全員に可否を通知します）。

※本プログラムの合格者は、2020年3月21日（土）～24日（火）に開催される3泊4日のオリエンテーション・プログラムへの参加が義務づけられています。

【送付先】 応募書類の送付先は、以下の通りです。（切り取って郵送先のラベルとして使用してください）
 ※遅配・不達等の郵便事故の責任は負いかねますのでご了承ください。

キリトリ

〒150-8681 東京都渋谷区渋谷1-12-13
 渋谷郵便局留

一般財団法人教育支援グローバル基金
 「ビヨンドトゥモロー エンデバー2020係」 行
 （渋谷区神南1-5-7 APPLE OHMI ビル4F ETIC. 内）

局留め郵便のため、宅急便での送付はできません。

【一般財団法人 教育支援グローバル基金およびビヨンドトゥモローについて】
 一般財団法人教育支援グローバル基金は、共感力ある次世代のグローバル・シティズン（地球市民）の輩出をめざす「ビヨンドトゥモロー」の運営を行っている非営利の財団法人です。「逆境は優れたリーダーを創る」を理念に、次世代を担う資質を持ちながらも、社会経済的に困難な状況にある若者たちを対象とした奨学金支給及び人材育成プログラムの開催を通し、広い視点、深い共感力をもって社会のことを考えることのできる人材輩出をめざしています。

理事	橋本 大二郎（理事長） 小林 正忠 佐藤 輝英 坪内 南 本庄 竜介 村瀬 悟	前高知県知事 楽天株式会社常務執行役員 ビーネクスト ファウンダー&マネージングパートナー 一般財団法人教育支援グローバル基金 事務局長 グリーンコア株式会社 代表取締役 メイヤー・ブラウン法律事務所 弁護士
評議員	木山 啓子 羽生 善治 宮城 治男 山崎 直子	特定非営利活動法人ジェン（JEN）理事・事務局長 将棋棋士 NPO法人 ETIC. 代表理事 宇宙飛行士
アドバイザー	阿川 尚之 竹中 平蔵	慶應義塾大学 名誉教授・同志社大学 教授 慶應義塾大学 名誉教授・東洋大学 教授
監事	江崎 滋恒	アンダーソン・毛利・友常法律事務所 弁護士

【問い合わせ先】
 電子メール：info@beyond-tomorrow.org ファックス：03-6745-9100

ビヨンドトゥモロー エンデバー2020
施設長／里親による推薦書
(施設長または里親がご記入の上、厳封ください)

志願者氏名	
-------	--

ビヨンドトゥモロー エンデバー2020 は、社会経済的に困難な状況にありながらも社会の力となる志を持つ、社会的養護の下に暮らす高校生を応援しています。選考にあたり、志願者が保護されることになった背景や日常生活における所見や志願者の人柄など、その他、当財団が選考にあたって志願者について知ることが有用と思われる情報について下記にできるだけ具体的にご記入ください。紙面が足りない場合は、裏面または別紙に記載してください。

日付 (西暦)

住所

電話番号

推薦者氏名

印

(該当するものに✓をつけてください)

志願者との関係

本人が居住する施設の施設長

都道府県知事により委託された里親

施設名 (社会的養護の施設に暮らしている場合)

本状は必ず施設長または里親の方がご記入の上、厳封してください。

ビヨンドトゥモロー エンデバー2020 応募を迷っているかもしれないあなたへ



藤本 翔 聖学院大学心理福祉学部（埼玉県立久喜北陽高等学校卒業）

幼少期から暮らす児童養護施設で小学生の時にいじめに遭った経験から、将来、そのような思いをしている子供たちを支えられる仕事をしたいと考えようになった。いじめの経験があったからこそ、自分はやり返すのではなく、自分でそれを止めたいと思えるようになったと思う。将来は、社会福祉士の資格を取得し、児童養護施設の職員になることが夢。エンデバーでこそなりたい自分になることができる、と思うようになり、自分の意見をきちんと言えよう人になろうと決意し、高校2年と3年の2年間、エンデバーの活動に参加した。

もともと、学校でも、暮らしている児童養護施設でも、口数が少なく、あまり話すほうではなかったし、外部のイベントやプログラムに自分から参加するということはありませんでした。でも、施設の職員の人がエンデバーのチラシを見せてくれた時、なぜか行ってみたいと思って「応募する」と答えました。普段の自分なら絶対に応募しなかったと思うので、職員の人にも驚いていました。学校では、児童養護施設に暮らしているということ話すこともあまりなく、たぶん心のどこかで共感を求めている、他の施設に暮らしている同世代の人たちに会ってみたいかっただと思えます。

でも、いざ合格してから、実際にプログラムに参加するまでは、そこで出会う人たちと打ち解けることができるのかとか、不安もたくさんありました。参加して最初の日に、「マイ・ストーリー」というセッションで、それまでの自分の生い立ちを共有する機会がありました。そこで、それまでに話せなかったようなことも、内側から全部話すことができ、気がついたら皆と仲良くなっていました。3泊4日のオリエンテーションの間、ずっと皆と話していました。話すことが苦手だった自分が、気がついたらずっと話していました。

プログラムが終わってからも、あの時、自分は何を言いたかったんだろうとか、考えることが増え、もっと皆と話したいと思うようになりました。ビヨンドトゥモローは、隠すことなく、自分が自分でいられる場所。だからこの場所でこそなりたい自分になることができる、と思うようになり、自分の意見をきちんと言えよう人になろうと決意しました。

高校2年と3年の2年間、エンデバーの活動に参加して、今まで向き合っていなかった、あるいは向き合う必要がないと思っていた自分の生い立ちやそれに対する思いを、自分の中で整理できたことがすごく良かったと思っています。この経験から自分のことを知ることができ、それを言葉にして伝えられるようになりました。そのおかげで奨学金の面接などで自分の気持ちを伝えることができるようになり、大学進学のための奨学金の面接に合格することができました。そういったことが自信にもつながり、今、交友関係にも役に立っているように思います。ビヨンドトゥモローに参加するまでは、相手が声をかけてくれるのをまっていたけれど、自分の気持ちを整理できたことで自信が付き、自分から人に積極的に声をかけることができるようになりました。

大学生になり「自分が本当にやりたいことをできる人間になる」という目標をたて、夏休みに大学の海外研修に参加し、カナダに行きました。最初は英語が全くききとれなかったけれど、ジェスチャーを交えたり、スポーツを通したりして現地の人々と交流し、少しずつ耳が慣れて聞き取れるようになり、英語が楽しくなりました。これからも、もっと多くの国を訪問し、様々な価値観に触れたいと考えています。

大学では社会福祉を学んでおり、将来は、社会福祉士の資格をとって児童養護施設で働きたいと思っています。今まで自分が経験してきたこと、人にしてもらって嬉しかったこととか、自分が悔しい思いをしたこととか、弱い立場の目線を自分が知っているから、そういう立場で人に接することができるようになりたいし、一人一人の子どもたちに声をかけることができる人になりたいと思います。

エンデバー2020への応募を、今、迷っている人へ。迷っているなら挑戦してみてください！

私も迷わず行こうと決めたわけではありません。一度は勇気が持たず諦めさえしました。それでも惹かれるものがあったので応募を決意することができました。今はその時の自分に感謝しています。口数が少なかった、人前で自分の意見を言えなかった私でも変わることができました。今までの自分を変えたい、新しい挑戦をしたい、同じような境遇の人に会いたいなどと少しでも思う人は挑戦してみてください。